百二十三名解雇さる！

會社の暴擧に反對せよ！

全從業員は一致して同志を助けよ!!

昨日會社は事業不振、經費節約の理由で從業員百二十三名に對し一擧に解雇を言ひ渡した

我等は直ちに全員集合して、十一名の交渉委員を擧げ

一、全員を復職せしむること
（但今回の解雇者に限り日給壹圓五拾錢迄の値下を認む）

二、工場を縮少せざること

三、今回の問題に關し犧牲者を出さざること

の三ヶ條の要求書を提出して午后七時より交渉を開始した

全 從 業 員 諸 君!!

會社は一ヶ年間に五千八近い職工を解雇し、一割減給を行つた結果二百餘萬圓の赤字を埋めて五分の配當をし、減給の取消もしたが、それでも尙本年度上期には二分增しの七分配當をしたではないか!!

かくの如く配當を增す金があつたら何で職工の首を切るか!!

この不況の街頭に家族をかゝへて、どうしてムザ〳〵解雇されてたまるか!!

全 從 業 員 諸 君

我等は血盟して一九となり決死的交渉を開始したのだ!!

交渉の經過によつて會社が誠意を示さぬ時は、其の時こそ 全從業員は一齊に起つて正義人道を無視する社會の橫暴と戰はねばならぬ

今日は人の身明日は我身にふりかゝるこの解雇を防げ！

全從業員は待機して指令一下に備へよ！

全 從 業 員 は 結 束 して

我 等 の 同 志 を 救 へ！

昭和七年十月十九日

日本勞働總同盟
紡織勞働組合
富士紡

保土ヶ谷支部

被 解 雇 者 一 同

責任者 齋藤 貢